

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業					☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	20	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	中島 仁
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10780	法令根拠	スポーツ振興法		成果優先度評価結果：⑤ コスト削減優先度評価結果：⑨
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・合志市民の健康増進、親睦融和を図るための健康マラソン大会。合志市民、合志市在勤者を対象に13部門を設け開催した。予算は特に報償費での大会参加賞及び参加賞代に使う。・旧西合志町で昭和58年、旧合志町で平成7年より開始されており、合併後は第一回大会を合併記念大会として、市民及び在勤者の健康増進と親睦融和を目的に開始された。平成18年度から警察からの道路使用許可取得が厳しい状況にあり、会場をカントリーパークに設定し行った。
【業務の流れ】	・会場の手配、企画立案、広報作業、集計作業、保険の手配、各団体への協力依頼、賞品・会場準備、司会進行、大会運営、後片付け、住民への報告、協力御礼の送付
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・カントリーパークから来年度も開催場所として要望有。・新年最初の健康運動として毎年この時期に開催して欲しい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO) 大人199人、子ども506人の参加により開催した。		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) カントリーパークにおいて合志市民を対象に1月に開催する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア マラソン大会実施回数	回	前年度が骨格予算であり、事業費のうち報償費の減によるもの。	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)	
市民および市内在勤者 (マラソン大会参加者)		→ ア マラソン大会参加者	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)	
・健康増進に関心を持つことができる。・親睦融和を図れる。		→ ア 健康増進に関心を持てたと思った参加者の割合	%
		イ 親睦融和を図れたと思った参加者の割合	%
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 健康や親睦は大会参加者の感想によるしかなく、アンケートにより把握する。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア 回	回	1	0	1	1	1	1	1	
② 対象指標	ア 人	人	722	0	750	669	760	770	780	
③ 成果指標	ア %	%	64	0	67	68	68	69	70	
	イ %	%	70	0	71	62	72	73	74	(期間限定複数年度のみ記載)
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	467		450	450	450	450	
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,195	108	1,596	989	1,541	1,541	
	(A) 事業費計		千円	1,662	108	2,046	1,441	1,991	1,991	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特約	千円	0	0	0	0	0	0	
		人件費	人	6	1	5	5	5	5	
人件費	延べ業務時間		時間	141	10	141	101	141	141	0
		(B) 人件費計	千円	564	39	561	416	580	580	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,226	147	2,607	1,857	2,571	2,571	

事務事業名	合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度的事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 他市町村のマラソン大会よりも安い参加費であることや、信号などがないコース設定をしている。他のスポーツ大会等の影響により、目標参加者に達していない。	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 市民の健康に対する意識が高まっており、参加者は増えると思われる。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 市内各学校、協賛後援団体の協力、本大会の定着化が進めば向上する。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似の事業が無い	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 申込期間等を早め、参加者を早急に確定させることにより参加賞、ゼッケン等の発注業務を早くすることにより発注無駄がなくなり削減に結びつく。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ・本大会の趣旨を崩さず移管できるような団体は今のところないが、陸上競技協会へ運営を移管する等の方法を検討する余地はある。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ポスター、チラシ等により募集の周知を行っている。参加者より大人千円、子ども五百円の参加料を公平・公正に徴収している。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 今のところ、この規模の大会を移管できるだけの団体がない。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

参加者は前回よりも微減したが、広報周知方法の再考を図ればもう少し増える可能性がある（締切り後に参加の申し出があった）。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☒事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 陸上競技協会等と協議し、本大会の主旨に適切な運営団体の選定等より効果的な運営を図る。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 本大会運営を移管できる団体の育成、指導が必要となる。																								